



宮國 健司

Miyaguni Takeshi

助手

【所属】

工学部工学科機械工学コース

キーワード

工作機械／旋削加工／工具(バイト)
／切削抵抗／表面粗さ

保有機器・装置

精密旋盤(型式:LR-55A)／高速精密
旋盤(型式:MAZAK-860)／AST 式
工具動力計(型式:AST-TTH
2019)／ベッド形万能フライス盤(形
式:2UMD)／NC 旋盤(型式:
LJ-10MC)／表面粗さ形状測定機(形
式:サーフコム 110A)

技術相談／共同研究が可能な研究、概要

1) 被削材の加工精度による切削抵抗力の測定

旋削加工で満足する精度を得るために、加工物の熱変形、びびり、工具の損傷や磨耗などの要因を軽減させなければ加工の高精度化は図れないが、切削抵抗力が、加工精度にどのような影響を与えるか検討を行っている。

2) 金属板のガス・プラズマ切断面の表面粗さ測定

各種金属の溶接加工を施して、溶接により熱の影響を受けて組織的に変質した母材断面の表面粗さを把握するため、ガス切断及びプラズマ切断で比較し検討を行っている。



高速精密旋盤と工具動力計による切削抵抗力の計測



表面粗さ形状測定機の外観

応用分野、想定される用途

- ◇ 自動車分野
- ◇ 金属製品製造会社
- ◇ 金属プレス加工

地域貢献可能なテーマ

- ◇ 地域コミュニティにおけるものづくり活動
- ◇ ものづくり技術者育成のための工学教育活動